

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解

科目コード：120107

## 臨床薬理学 Clinical Pharmacology

担当教員	長谷川 昇				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	薬物の作用機序、治療戦略、副作用				
学習目的・目標	薬物の作用機序、作用点や薬効発現あるいは相互作用の要因となる吸収、分布、代謝、排泄などの薬理学的知識を習得できる。 さらに、主な疾患の成因・病態を理解し、薬による治療戦略（治療効果）、用いられる薬の作用機序と副作用、禁忌などの薬物治療学的知識を習得し、各薬物の効果的な使用方法（与薬方法）について対象者へ指示できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	薬物の作用（薬の役割、法的分類）				
2	薬物の作用点、薬容量、剤形と投与経路				
3	薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）				
4-8	主な薬物の作用と副作用 循環器障害と浮腫 副腎皮質ステロイド 抗癌薬				
教科書	系統看護学講座 別巻「臨床薬理学」医学書院				
参考図書等	今日の治療薬2020 解説と便覧、南江堂				
評価指標	定期試験で評価します。				
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養				
教員から学生へのメッセージ	人間機能学で学習した、「正常の人間の構造と機能」の知識と、人間病態学で学習した。「疾病の成り立ち」が基本となるので、よく復習しておくこと。問題提示－解決方式の講義を行い、レスポンスペーパーで質問を受け付ける。				